

氏名：千葉敏雄

資格：医師・医学博士

役職：一般社団法人 メディカルイノベーションコンソーシアム理事長

(学校法人)順天堂大学特任教授、(国立大学法人)大分大学客員教授

<経歴>

- ・1975年3月 東北大学医学部卒業
- ・1977年 国立小児病院外科
- ・1978年 東北大学第二外科
大阪大学蛋白質研究所
- ・1982年 医学博士号取得（東北大学医学部）
- ・1984年 東北大学小児外科助手
- ・1986年 米国ピッツバーグ大学小児外科クリニカルフェロー・同客員教授
- ・1992年 東北大学小児外科講師
- ・1997年 米カリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）胎児治療センター客員助教授
- ・1998年 同客員教授・上席研究員
- ・2001年 国立成育医療センター特殊診療部長
- ・2003年 ハーバード大学医学部関連病院(ボストン小児病院)にて特別講演
- ・2009年 同臨床研究開発部長
- ・2010年 (独)国立成育医療研究センター臨床研究センター副センター長、同医療機器開発室長
- ・2010年9月 国際胎児医学・外科学会(IFMSS) 会長
- ・2012年 (一社) メディカル・イメージング・コンソーシアム (MIC) 理事長
- ・2013年 東京大学大学院情報理工学系研究科教授
- ・2013年 (独)国立成育医療研究センター社会・臨床研究センター副センター長、同医療機器開発部長
- ・2014年 昭和大学医学部・早稲田大学理工学部客員教授
- ・2015年 日本大学総合科学研究所教授
- ・2016年 “8Kの医療応用国際シンポジウム”主催（於日本大学）
- ・2017年 8K硬性内視鏡（含胎児内視鏡）臨床実用化のため、CEOとしてカイロス(株) 創設（のちにエアウオーター(株) と統合）
- ・2018年 (一社) メディカル・イノベーション・コンソーシアム (MIC) 理事長、同年国際電気通信連合 (ITU) への MIC 提案 (“8K 医用画像の遠隔伝送方

式“)が国際標準(国際連合基準)として公式に承認される ▽2019/6 順天堂大学医学部特任教授(超高精細画像医療応用講座)

・2019年 大分大学医学部客員教授

<受賞>

・2006年 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門 ROBOMECH 表彰

・2020年 アルベルト・シュバイツァー賞受賞(最高賞および医学賞)

▼講演・発表等の活動(米国 UCSF よりの帰国前後以降)

(国内) 多数の医療施設・教育研究機関(国連大学など)、医学専門学会、中央省庁(内閣官房・官邸、総務省、厚労省薬事食品衛生審議会、内閣府科学技術イノベーション会議など)、日本医師会および各メディア等

(国外) 多くの国際学会・医療機関・国際機関等: 米国(含ハーバード大学関連病院など)、欧州各国(含スイス国際連合専門機関など)、豪州、中近東各国(外務省後援による)、東アジア各国、東南アジア各国、インド・スリランカ等

▼著書(共同執筆)「胎児手術」(科学評論社, 2007)

▼論文(共同執筆) 和文・英文多数(胎児医療、8K 医療画像関連など)